

～自力施業から受委託施業へ～低コスト生産の取組

- 1. 林業事業体等名 つがる森林組合（青森県鱒ヶ沢）
- 2. 林業事業体の概要
 - ①年間素材生産量 6,600m³（うち 間伐の占める割合80%）
 - ②生産する主な樹種 スギ
 - ③素材生産に関わる作業員数 5名（1セット5名×1セット）

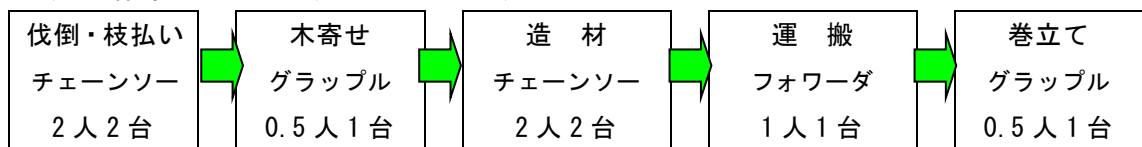
3. 取組の特徴

- ・ ハーベスタ等の高性能林業機械を活かした低コスト生産により、森林所有者への利益配当に努め、自家労力が中心となっている管内の森林施業を森林組合への受委託施業に転換を図っている。
- ・ 作業当初に各工程のタイムを計測し、どこがボトルネックになっているか明らかにした上で改善を行うなど、伐採から運材までの工程間のシステムの効率化を図っている。
- ・ これまで搬出が困難であった森林を中心に基幹作業道を約8,000m開設し、高性能林業機械と組み合わせ、伐出コストの低減を図っている。

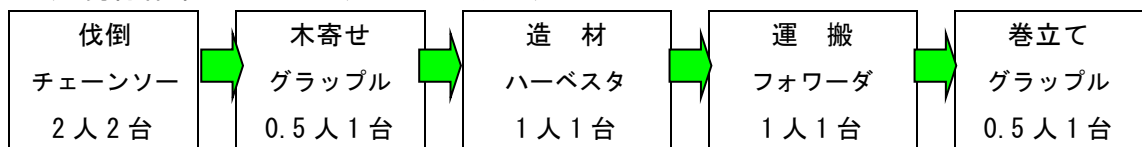
4. 具体的な内容

- ①施業方法：主に定性間伐により実施
- ②使用機械：グラップル1台、ハーベスタ1台、フォワーダ1台
- ③作業システム：

1) 旧作業システム（6人／セット）



2) 現行作業システム（5人／セット）



④作業路作設方法：

- ・ 崩壊を極力抑えるため、緩傾斜地を中心に路網線形を配置。
- ・ 雨水による洗掘防止のため要所に簡易横断工を設置。
- ・ 施工については、実績のある業者に委託している。

⑤労働生産性及び素材生産コスト：

	従来の作業システム		現在の作業システム	
利用間伐	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)
	2～3	8,000～10,000	4～6	6,000～8,000

- ・ 新作業システムの導入により、労働生産性を約 50%向上させたことで、素材生産コストが約 25%削減され、森林所有者への利益還元に繋がった。

5. 今後の取組等

- ① これまでグラップル1台で、木寄せ及び巻立て作業を行っていたため、それぞれの現場間での移動により効率面で問題があったが、今年度、グラップル（ウルトラザウルス）を1台導入する予定となっており、同機の2台体制により、作業の固定化が可能となり、今後、より一層の生産量向上に努めていく。また、このグラップルは作業道の開設も行うことができることから、高密度路網による低コスト化を積極的に進めていく。
- ② 高性能林業機械の効率的作業システム及び高密度路網による低コスト化を進め、できる限り森林所有者への還元を行っていくことで、森林所有者からの信頼を高め、自家労力中心の施業からの転換を図っていく。また、これにより、森林所有者との長期受委託契約の締結を進め、森林経営計画の作成主体となることで、集約的かつ安定的な事業量を確保し、持続可能な森林経営の推進を図っていく。



【ハーベスタによる造材】



【グラップルによる巻立て】

【問い合わせ先】

所属：青森県 西北地域県民局地域農林水産部

役職・氏名：主幹 對馬 学

連絡先：0173-72-6613